

特集展示「くんち三九一年展」

長崎歴史文化博物館では、毎年恒例のくんち展を開催中です。
ぜひ取材・情報掲載のほど宜しくお願いいたします。



長崎の氏神・諏訪神社の秋の大祭である長崎くんちは寛永11年(1634)に高尾と音羽の二名が神前で踊り(小舞)を奉納したことにはじまると言われています。

平成17年(2005)の開館以来、当館ではくんち関係資料の収集と充実を図って参りました。

今年で20回を数える本展示では、それらの中から平成30年度(2018)に収蔵された「諏訪祭礼図屏風」、昨年度長崎市へ寄贈された「川船船頭衣装」、「前垂」、「道中着」をご紹介します。



本年の踊町(西古川町、新大工町、諏訪町、榎津町、賑町、新橋町)にゆかりの資料、くんち展の定番となっているくんちの様子を捉えた絵画や絵葉書、実際に祭礼で使用された衣装とあわせてご注目ください。

特集展示「くんち三九一年展」

- 会期／ 2025年 9月3日(水)～10月13日(月祝)8:30～19:00(最終入館18:30)
※9月16日(火)、10月6日(月)休館
- 会場／ 特集展示室(2階常設展示室内)
- 料金／ 常設展観覧料[大人630円、小中高生310円]でご覧いただけます
※長崎県内の小中学生、長崎れきぶん友の会、キャンパスメンバーズは無料

展示資料(49点)

新収蔵資料

川船船頭衣装・前垂・道中着
明治17年(1884)頃
江崎家旧蔵



磨屋町傘鉾飾



長崎古今集覧名勝圖繪稿本
石崎融思／天保12年(1841)



諏訪祭礼図屏風

関連展示 町屋「くんち」

江戸時代の長崎の商家を復元した町屋では「くんち」にちなんだ伝統料理と飾りを展示します。

期 間： 2025年9月17日(水)～10月19日(日)

※10月6日(月)休館

時 間： 8:30～19:00(最終入館18:30)

会 場： 2階歴史文化展示ゾーン 町屋(常設展示室内)

入場料： 常設展観覧料[大人630円、小中高生310円]
でご覧いただけます

※長崎県内の小中学生、長崎れきぶん
友の会、キャンパスメンバーズは無料



※令和7年度の「くんち手ぬぐい」は、当館1階ミュージアムショップにて
2025年9月4日(木)正午より販売予定。(価格:1セット6枚入り 4,300円)